

# 「変える」ということ



岡山市・岡山朝日高1年 天艸 らん

「大学入学共通テスト」「英語民間試験導入」。最も多く聞いた言葉だ。私人も多いのではないだろうか。

私の住んでいる地域には駅が無く、バス停も自宅の近くにはないので通学にも片道一時間以上かかる。そのため、この記事を読んでも、受験機会に差が生じるという問題については身近に感じた。自分自身も入試を受けることになった。

しかしそれと同時に、延期に戸惑いを感じている高校生も多いのだと改めて知った。確かに、勉強してきたことが無駄になることは決してないが、入試対策となると限られた時間の中で自分に合った勉強を計画的にする必要がある。そんな中で突然の入試制度の変更や延期は、受験生たちの努力が踏みこじられた」という思いも生み出してしまっ

た。今回の英語民間試験導入の延期以外にも、まだ未定

「ほっとした」「納得いかず」。英民間試験の導入によって、地域によって受験生の学力差が生じていたという問題が指摘されていた。岡山県では受験予定だった高校生2年生や学校関係者から、「何が変わるのか全ては分からない」「なんとなく難しくない」などの疑問も生じた。

今年度の延期については、金一地区や少ない等月、公平性が担保されていないと不安だ。言えないこととして延期を。近隣の岡山県立高校や岡山県立高校協会の近藤治博校長は「一応の値段を全額、校長が負担し、1人の校長は『金一地区の校長は全額を』という思いが強いから、自分から正しい情報を得て、一つの観点に縛られず柔軟に考えて意見を持てるが大切だ」と思う。

元号が令和へと変わり、今後も色々なことが変化していくだろうし、私たちに直接関わる問題も増えていくだろう。大きな変化や改革の時には多くの人の反対や疑問が生まれるものだからこそ、正確で分かりやすい情報公開と、受け取る側の意見、この二つによる「当事者の声を取り入れた改革」が必要になると、私は思う。

## 「ほっとした」「納得いかず」

萩田田光一文部科学相が、2020年度の大入試導入を断念した。岡山県でも民間試験の導入を見送ると発表。岡山県立高校で受験予定だった高校生2年生や学校関係者から、「何が変わるのか全ては分からない」「なんとなく難しくない」などの疑問も生じた。

### 岡山

民間試験を導入することで、地域によって受験生の学力差が生じていたという問題が指摘されていた。岡山県では受験予定だった高校生2年生や学校関係者から、「何が変わるのか全ては分からない」「なんとなく難しくない」などの疑問も生じた。

### 英語民間試験 突然の見送り

英語民間検定試験の経過	
2014年	中教審が20年度から新たな学力評価テストの実施を目指し、英語では民間検定試験活用も検討と表明
17年7月	文部科学省が新テスト「大学入学共通テスト」の実施方針、民間試験の導入
18年3月	大学入試センターが7団体8種類の民間試験を認定
19年7月	TOEICの実施団体が参加取りやめを発表
9月10日	全国高等学校長協会が、導入延期を求める要望書
10月1日	日本私立中学高等学校連合会が、予定通り実施を求める要望書
10月10日	萩田田光一文部科学相が「初年度は規模向上期間」と発言
10月24日	萩田田氏がテレビ番組で「自分の身の丈に合わせた試験で実施してもらいたい」と発言。その後断念し、撤回
11月1日	萩田田氏が20年4月からの導入見送りを発表

### 高校生ら安堵と戸惑い

「延期になっても安心」などと、制度の変更を歓迎する声も多かった。一方で、延期により、受験生たちの努力が無駄になるのではないかという不安も生じた。延期により、受験生たちの努力が無駄になるのではないかという不安も生じた。

2019年11月2日付 山陽新聞

## 寸評

大学入試という高校生にとって切実なテーマの記事を取り上げ、率直に意見を述べています。制度変更への自らの戸惑いを

を書いたことが、改革には当事者の声を取り入れる必要があるとする結論に説得力を持たせました。